

# 新潟県上越市立大手町小学校

(様式4-2:2019年度 モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度実施結果報告書)

## 実施結果報告書

1. 学習名称： 探究(総合的な学習の時間)，社会科					
2. テーマ： わたしたちの大好きな高田 ～お宝フォトブック in 高田～					
3. 実施教科： 探究，社会科					
4. 関連単元： わたしの住むまちはどんなまち・わたしたちの市のようす					
5. 実施単元数： 10単元					
6. 学年	3年	7. クラス数	2クラス	8. 児童数	40名
9. 実施内容 別紙					
10. 学習の流れ 別紙					

## 9. 実施内容

### 《1学期》

#### ○ 町たんけんをしよう

ふるさと高田のよさを見つけ、愛着をもって大切にしていこうとする心情を培うことを目的とし、まず校区を中心に子供たちが自分の足で歩いて、校区内の「すてきな場所」「すてきなもの」を見つける活動を行った。車社会の現代、自分が住む町内以外は、通り過ぎることはあってもじっくりと見て歩くことが少ない子供たちが多く、珍しい建物や広い公園、寺社などを興味深く見て回った。

その中で、自分が「これが高田のお宝！」と感じたものは、持参したタブレットで写真を撮った。

#### ○ 本町お宝発見ツアー・本町お買い物ツアー・「本町のお宝」とは？

学校からほど近い本町商店街は、老舗の店も多く、長く地域の人に愛される商品が多数ある。子供たちはグループをつくり、商店街のお店を訪ね歩き「人気のある商品は何ですか」「昔からあるものは何ですか」などと聞きながら『高田のお宝』を探した。お店の人もたいへん親切で、その商品の歴史や長く愛される所以などについて子供たちの素朴な疑問に丁寧に答えてくださった。発見したお宝は、「本町のお宝」として写真に撮った。

お買い物ツアーでは、グループで相談しながら「本町のお宝」を購入した。本町には老舗の和菓子屋さん、コロッケがおいしい肉屋さん、いい香りがするお茶屋さん…等、子供たちが喜んで訪ねたくなる店が多く立ち並ぶ。その中で、子供たちは「お宝発見ツアー」でお聞きした本町の商品についての情報をもとに「お宝」と思うものを購入した。

こうした活動から「本町のお宝」とはどういうものなのか、「お宝」とそうでないものの違いは何か、子供たちが議論をするようになった。

#### ○ プロカメラマンから学ぼう

お宝を見つけて写真を撮るという活動を進める中で、「写真を撮る技術」「効果的に被写体を写すために大切なこと」などを、子供たち自身が身に付けたいと考えるようになった。そこで、地域で活躍するプロカメラマンを招き、講話をしていただいた。上越市の観光名所や各種イベントの撮影を請け負うことが多いというカメラマンが、日頃「どんなことに気を付けて写真を撮っているか」「よりよく撮るために工夫していること」「写真を撮る心構え」等、子供たちに語ってくださった。

さらに実際に学校からほど近い高田公園の撮影に同行していただき、高田城やお堀に咲くハスの花の撮り方を現地でも教えていただいた。

### 《2学期》

#### ○ 朝市お宝発見ツアー・朝市お買い物ツアー

本町商店街と同様に学校から近い「大町通り」では、1ヶ月のおよそ半数の日に朝市が立ち並ぶ。朝市も100年近くの伝統がある。新鮮で安心できる地場産の商品が立ち並び、店の人とお客さんの距離が近いことから地域の人に愛され、大切にされている。

子供たちは1学期の本町商店街と同様に、まずは「朝市のお宝」を探す活動から始め、「お買い物ツアー」「朝市のお宝撮影ツアー」を何度も繰り返しながら「朝市のお宝」とは何かということについて議論し、考えを深めていった。そこで「新鮮な野菜や果物」「お店の人が手作りするどら焼きや漬け物」「早朝に収穫し、店頭で並ぶ山菜」など、朝市に並ぶ商品の価値に気付く一方で、本町のお宝は「もの」ではなく、そこに生まれる人と人との会話・コミュニティこそが朝市のお宝ではないかと考えるようになった。



### ○朝市感謝祭を盛り上げよう

本町商店街・朝市と、お宝を探してきた子供たちは、どちらもたくさんのお宝があるにもかかわらず、道行く人が少ないことを残念に思っていた。

毎年10月に行われる「朝市感謝祭」では、1年に1回の朝市のイベントであるにもかかわらず、地域の人や子供たちの家族にも認知度が低かった。そこで、感謝祭を盛り上げるべく、子供たちも参加することとなった。（←別紙「指導計画①」）

### ○伝承と交流の集い

本町商店街にある「まちかど交流館」（イベントホール）にて、地域の老人会主催の『昭和・平成・令和を巡る写真展』に参加した。子供たちが各自これまで撮ってきた「お宝写真」の中で1番のお気に入りを出展し、令和の時代の高田の代表として展示された。老人会からは、高田地区の昭和初期からの平成への変遷が分かる特徴的な写真が出展され、およそ2週間開催された。写真展初日は、老人会の方々と子供たちとの写真を語る集いが行われ、お互いの写真を紹介し合ったりその時代の生活の様子などを聞いたりするよい機会となった。

開催期間には、子供たちの写真にも多くの感想が寄せられた。会場に設置した「感想箱」には市内のあちこちから来場された方々からの感想もあり、人通りが少ないと感じていた本町商店街でも公共交通機関等を利用して、遠くからも来られている方がいることを知ることができた。

《3学期》

### ○公共交通の役割を学ぼう

本町商店街・朝市では、主に高齢者を中心に公共交通機関を利用して買い物に来られる方が多いことが徐々に分かってきた。さらに、社会科の学習で地域の偉人について学んだ際、この地域で欠かせない鉄道や路線バス、タクシー等をここまで発展させることに尽くした偉人の存在を知った。

そこで、バス会社の協力を得て、公共交通の役割を学ぶ機会を設けた。（←別紙「指導計画②」）

### ○お宝写真撮影ツアー

これまで自分たちの足で歩きながら「高田のお宝」を見つけてきた子供たちだったが、公共交通の役割を学び、バスを利用することでさらに広範囲の「高田のお宝」に出会いたいと考え、1日貸し切りバスに乗って、市内の名所や子供たちが行きたいと考えた場所、地域の偉人の功績を学ぶ資料館等を巡って「お宝写真撮影ツアー」に出かけた。子供たちは、それぞれの場所で見つけた「お宝」をたくさんカメラに収め、自分の生まれ育った地域の「お宝」の多さに気付くことができた。また、貸し切りバスを利用し、環境に優しい方法でお宝に出会えたことやバスの便利さを改めて実感した。

### ○お宝フォトブックをつくろう

1年間撮りためた写真は、一人50～70枚ほどになり、本当に多くの「高田のお宝」を見付けることができた。その1年間のまとめとして、一人1冊のフォトブックを作成した。写真は、一人20枚程度を選び、その写真を撮った自分の思いや写真からイメージされる俳句や詩を加えながら一人一人のオリジナルフォトブックとなった。（完成は4月予定。）

### ○グッと伝えるスペシャルデー（自分のお宝写真と学びの紹介・交流会）←実施途中で終了

1年間の学びを保護者・地域の人に伝える学校行事。子供たちは、自分の写真からお気に入りの3枚を選び、その写真への思い・写真の場所やものの紹介・そこまでの交通機関・ふるさとへの思い等を語り、交流し合う計画で準備を進めていた。（←指導計画③）

10. 指導計画①：朝市感謝祭を盛り上げよう（全12時間）

○活動のねらい

- ・朝市感謝祭を盛り上げるために自分たちでできることを考え、実践する。
- ・朝市の目の前を車で通り過ぎてしまう人や、公共交通を利用する人に朝市感謝祭をアピールし、参加してもらえるようにする。

○活動の流れ

活動の流れ（時間）	・教師の働きかけ	備考
○朝市感謝祭を知ろう。（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年までの朝市感謝祭の様子が分かる写真や資料を提示して子供たちにイメージを持たせる。</li> <li>・子供たちの感想・疑問等を聞きながら、自分たちの今年の「朝市感謝祭」のイメージをつくっていく。</li> </ul>	
○きぼうっ子の朝市感謝祭をどうつくる？（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「朝市感謝祭」で自分たちがしたいことについて意見を出し合う。</li> <li>・朝市のために、自分たちがすべきことを決めるよう、もう一度目的を考えさせる。</li> </ul>	
○朝市感謝祭の準備をしよう。（5）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームに分かれて、朝市感謝祭に向けて必要な道具・材料を話し合わせる。</li> <li>・朝市感謝祭の準備。 <ul style="list-style-type: none"> <li>*看板・ポスターづくり</li> <li>*フラッグ・のぼりづくり</li> <li>*接客や宣伝の練習</li> <li>*感謝祭シミュレーション</li> </ul> </li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>①お店の手伝いチーム</li> <li>②朝市フラッグで宣伝チーム</li> <li>③のぼりで朝市感謝祭PRチーム</li> <li>④青果の特売チーム</li> <li>⑤お休み処チーム</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→反省点の改善策を検討する</li> </ul>	
○朝市感謝祭に参加しよう。（3）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝市組合長さんのお話を聞き、自分たちが参加することの意味を再度確認して、感謝祭の準備を始める。</li> <li>・朝市感謝祭を盛り上げるために、精一杯活動する。</li> <li>・お客さんの状況・様子を各チームで捉え、活動を修正しながら進める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>②③チーム <ul style="list-style-type: none"> <li>*車通りの多い場所でフラッグやのぼりを掲げ、宣伝する。信号待ちをしているドライバーによく見えるようにフラッグやのぼりを掲げる。</li> <li>*バス停まで買い物した商品を運ぶ手伝いをする。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	
○朝市感謝祭を振り返ろう。（2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームとして自分たちの活動は「朝市感謝祭」を盛り上げたり助けたりすることにつながっていたか考えさせる。</li> <li>・成果と課題を発表し合い、感想を伝え合わせる。</li> </ul>	



10. 指導計画②：公共交通の役割を学ぼう（全6時間）

○活動のねらい

- ・地域の公共交通の発展に尽くした偉人の功績を学ぶ。
- ・自分自身の公共交通の利用や、現代の公共交通の役割・課題を考える。
- ・「(株) くびき自動車」を見学し、路線バスの利用の仕方や公共交通の利便さ・役割を学ぶ。

○活動の流れ

活動の流れ（時間）	・教師の働きかけ	備考
○地域の偉人「大竹謙治」について学ぼう。（1）	・他地域との往来に苦慮していたこの地域に鉄道を整備し、その後は路線バスの仕組みを導入した「大竹謙治」について資料をもとに学ばせる。	
○公共交通の役割について考えよう。（1）	・鉄道、バス、タクシーなど、自分たちの身の回りの公共交通を挙げ、それぞれの特徴とその役割を想起させる。	
○校外学習：公共交通の役割を学ぼう。（3）	・実際、自分たちがそれほど公共交通を利用していない実態を考え、その理由を考えさせる。	
「(株) くびき自動車」	・現代の公共交通の課題はどんなことか、考えさせる。	
○校外学習を振り返ろう。（1）	・路線バスを利用して校外学習に出かける。（初めて路線バスを利用する子供たちが大多数。その仕組みを知る上でも路線バスを利用させたいというねらい。）	
	・校外学習での学習内容。	
	* 路線バスの乗り方	
	* 大切なマナーやルール	
	* バスがエコな訳	
	* 地球温暖化と公共交通	
	* 公共交通としてのよさ	
	・バスの役割について、初めて知ったこと・学んだことを発表し合う。	
	・公共交通の役割を学び、今後自分が実践したいことや周囲に働きかけていきたいことを作文シートにまとめる。	

10. 指導計画③：ぐっと伝えるスペシャルデー（全8時間）←実施途中で終了

○活動のねらい

- ・自分が撮りためたお宝写真からお気に入りの3枚を選択し、その写真に写っている「高田のお宝：場所・もの」やふるさと高田への思いを語る。
- ・お宝写真の場所やものに出会える方法（行き方・所用時間）を伝え、身近に出会えるお宝であることを伝える。
- ・保護者・地域の人から自分のお宝写真について質問や意見に自分の言葉で答えながら、高田のお宝のよさ・ふるさと高田のよさを伝える。

○活動の流れ

活動の流れ（時間）	・教師の働きかけ	備考
○活動について理解する。 （1）	・今年度の活動のまとめである「ぐっと伝えるスペシャルデー」について、子供たちがどのようにつくりたいか意見を聴きながらまとめていく。	
○お宝写真3枚を選択し、写真についての思いを明確にする。（2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちが撮りためた写真から3枚を選ばせる。どうしてその3枚を選んだのか、どんなお宝なのかを語るができるように選択していく。</li> <li>・選択した写真について、自分なりの思いやその写真の紹介・行き方と所用時間などを書き出す。</li> <li>・最寄りの駅やバス停・所要時間などは、正確に調べる。</li> </ul>	
○お宝写真3枚を印刷し、どの順序で語るかを決めて発表用ボードに準備する。（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が伝えたいことは何か、どの順序で話すことが効果的か考えさせる。</li> </ul>	
○ぐっと伝えるスペシャルデーの練習をする。 （1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と、ぐっと伝えるスペシャルデーの練習をし合う。お互いに質問し合ったり意見を言い合ったりすることで、予め何度も練習した台詞ではなく、その場で自分の言葉で伝え合う練習をする。</li> </ul>	
○ぐっと伝えるスペシャルデーで伝えよう。（2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の人、これまで活動でお世話になった方などを招き、自分の撮ったお宝写真について語る。参加者の方々からは、個々に子供たちの写真を見て廻っていただき、率直な感想や疑問を子供たちに話していただくようにする。</li> </ul>	
○ぐっと伝えるスペシャルデーを振り返ろう。 （1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぐっと伝えられたか」という視点で振り返りをする。「ぐっと伝わった」手応えはどんな様子から感じられたのか、自身のことや友達の様子などを発表し合う。</li> <li>・振り返って感じたことを作文シートに書く。</li> </ul>	



10. 朝市感謝祭を盛り上げよう：活動写真①



道行くドライバーさんに「朝市感謝祭」を宣伝する『朝市フラッグで宣伝チーム』



バス停の近くで「朝市感謝祭」をPRする『のぼりで朝市感謝祭をPRチーム』



10. 朝市感謝祭を盛り上げよう：活動写真②

朝市が行われている通りを端から端まで歩いて宣伝する  
『のぼりで朝市感謝祭をPRチーム』

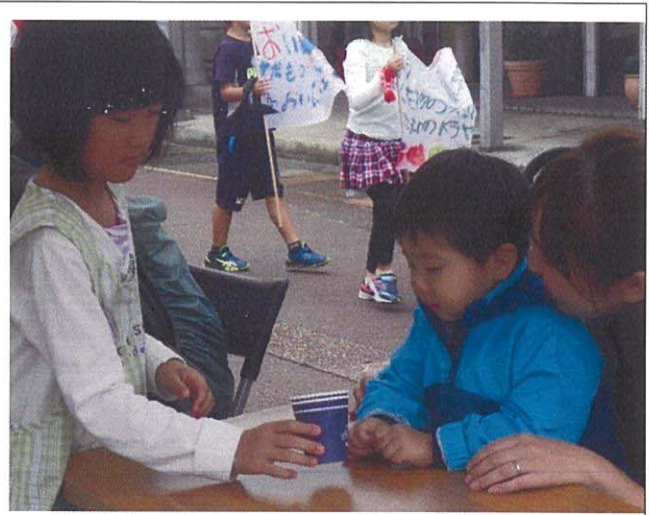


手作りの のぼりで 朝市感謝祭を宣伝する  
『のぼりで朝市感謝祭をPRチーム』





10. 朝市感謝祭を盛り上げよう：活動写真③



ゆったり のんびり 朝市を楽しんでもらおうとお茶を出したり、肩もみサービスをしたりする『お休み処チーム』



元気な接客で朝市を盛り上げたい『お店のお手伝いチーム』



たまねぎ・じゃがいも・みかん・梨の完売を目指した『青果の特売チーム』

( 1 )

十月二十日 (木)

名前

朝市感しさいのふりがえり

リ	フ	ま	ラ	も	と	自	
自	ラ	し	ツ	の	い	分	今
分	ツ	た	ク	が	う	が	日
で	ク	。	に	う	と	朝	朝
こ	に	ど	か	う	フ	市	朝
と	か	の	い	て	ラ	感	市
ば	い	よ	て	い	ツ	し	感
を	て	う	せ	る	ク	ヤ	し
オ	あ	に	ん	よ	で	さ	ヤ
ん	る	し	で	と	朝	い	さ
が	こ	た	ん	い	市	で	い
え	と	か	み	う	に	何	を
て	を	と	た	こ	は	を	し
そ	言	い	い	と	こ	し	ま
れ	っ	う	に	を	ん	た	し
を	た	と	し	フ	な	か	た



で	き	ら	き	ど	い	と	ろ	思	は
す	に	な	た	う	ま	は	に	っ	な
。	、	い	人	し	す	、	つ	た	す
む	お	か	に	て	み	い	こ	こ	
ず	た	ら	か	と	ん	て	と	と	
か	し	お	わ	と	い	な	く	は	も
し	が	し	た	い	う	に	と	し	
か	こ	え	し	う	こ	こ	こ	み	ま
っ	た	て	朝	と	と	れ	ろ	ん	し
た	え	し	市	を	は	で	な	た	。
こ	て	と	の	東	こ	す	が		。
と	あ	聞	こ	き	で	こ	お	や	
は	げ	か	と	き	に	で	な	り	
、	た	れ	よ	う	ま	う	き	い	な
右	か	た	く	か	し	っ	た	と	が
の	ら	と	し	ら	た	て	こ	こ	ら

( 3 )

			フ	さ	る	て	の	こ	ほ
			た	い	り	フ	が	ろ	う
			り	で	た	ラ	ん	で	か
			で	し	こ	ッ	ば	す	左
			す	た	と	ク	た	。	の
			。	い	で	を	こ	そ	ほ
				こ	す	ひ	と	し	う
				と	。	ろ	は	て	に
				は	さ	げ		朝	い
					い	て	オ	市	く
				お	後	が	き	感	か
				み	い	ん	く	し	ま
				せ	朝	ば	声	ヤ	よ
				の	市	ッ	を	さ	ッ
				お	感	て	た	い	た
				て	し	あ	し	で	と





(1)

十月五日(木)

名前

ら	に	と	し	り	ま	ぼ	朝市感謝祭のふりがえり
見	書	は	た	が	し	く	今日
え	い		。	見	た	は	
や	て	の	せ	え	。	の	朝市感謝祭のふりがえり
す	あ	ぼ	ん	が	せ	ぼ	朝市感謝祭のふりがえり
い	る	り	で	す	ん	り	朝市感謝祭のふりがえり
よ	支	を	ん	い	で	で	朝市感謝祭のふりがえり
う	字	上	を	よ	ん	朝市	朝市感謝祭のふりがえり
に	か	に	し	う	を	市	朝市感謝祭のふりがえり
持	見	あ	な	に	大	の	朝市感謝祭のふりがえり
ち	え	げ	が	せ	き	せ	朝市感謝祭のふりがえり
ま	な	る	ら	ん	な	ん	朝市感謝祭のふりがえり
し	と	と	思	で	声	で	朝市感謝祭のふりがえり
た	な	の	心	ん		ん	朝市感謝祭のふりがえり
。	る	の	。	し	の	を	朝市感謝祭のふりがえり
他	か	ぼ	た	ま	ぼ	し	朝市感謝祭のふりがえり
		り	二	ま	ぼ	し	朝市感謝祭のふりがえり



た		あ	た	す	た	で	で	の	は
か	朝	り	。	め	こ	ん	ん	こ	。
と	市	ま	む	で	と	を	し	と	大
思	感	せ	ず	す	で	し	ま	か	き
い	謝	ん	か	よ	す	と	し	あ	い
ま	祭	。	し	な	。	あ	た	っ	声
し	を		か	ど	他	き	。	た	じ
た	ぼ		。	の	に	や	で	か	か
。	く		た	よ	こ	く	き	ら	な
理	は		こ	び	の	さ	た	大	く
由	も		と	こ	こ	ん	こ	き	と
は	り		は	み	か	が	と	い	。
	上			を	ソ	来	は	声	小
色	が		と	し	が	と		で	さ
ん	ら		く	ま	あ	く	せ	せ	い
な	れ		に	し	す	れ	ん	ん	声

( 3 )

					い	市		い	人
					で	で	ニ	っ	っ
					す	も	れ	ば	お
					っ	っ	か	い	き
						と	ら	買	や
					お	し	っ	っ	く
					宝	て	て	さ	さ
					写	口	も	ん	ん
					真	き	ら	っ	っ
					を	た	っ	か	か
					と	い	た	来	来
					っ	ニ	か	て	て
					た	と	ら	く	く
					り	は	で	れ	れ
					し	っ	す	た	た
					た	朝	っ	し	し





10. 公共交通の役割を学ぼう：活動写真①



生まれて初めて路線バスに乗る子供たちも半数近くいました。ドキドキのバス停。



安全にバスに乗り降りすることができました。



10. 公共交通の役割を学ぼう：活動写真②



バス会社さんに到着！バスの中の仕組みを学びます。



運転席からの視界と死角について教わりました。バスを降りた後のルールも大切です。



10. 公共交通の役割を学ぼう：活動写真③



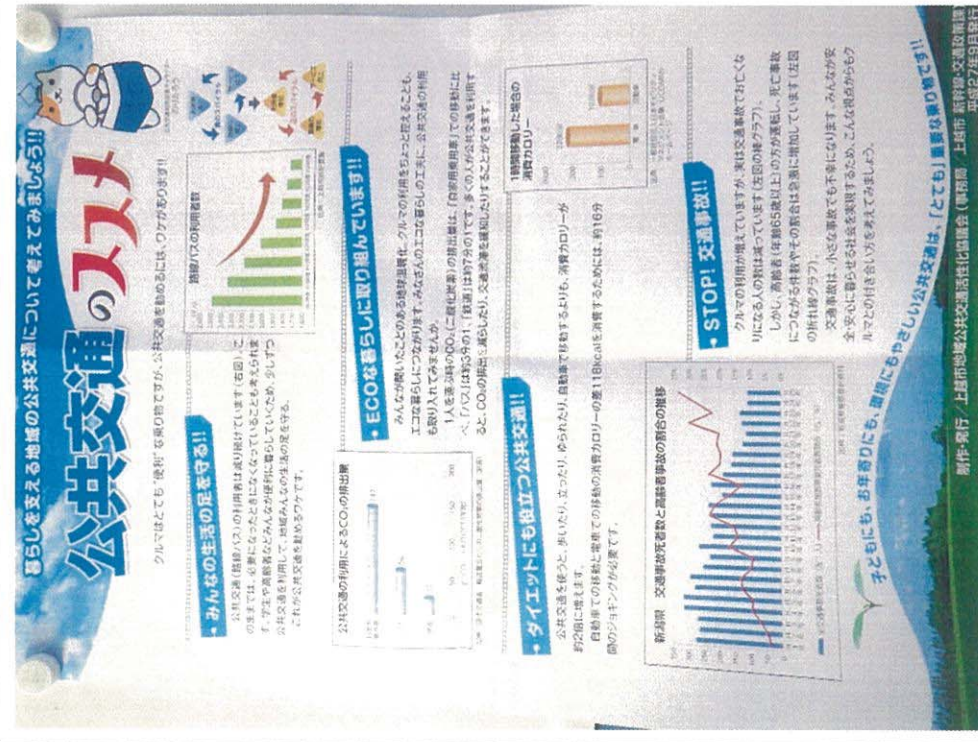
バスのよさ、公共交通のよさについてお話をお聞きしました。



バスが地球にやさしく、地球温暖化防止にも役立っていることを聞きました。



10. 公共交通の役割を学ぼう：活動写真④



公共交通のよさについて 左記の資料をもとに  
丁寧に説明をしていただきました。



バス会社さんの見学を終えて 学んだことを振り返りました  
バスが「エコ」だということを知ってとても驚きました。

## 10. 公共交通の役割を学ぼう：子供たちのワークシートより（抜粋）

- ・びっくりしたことは、バスに乗るとダイエットになることです。また自家用車とバスでは、二酸化炭素の出る量が全然違って、バスは車の3分の1だということにとっても驚きました。バスは環境にやさしいことが分かりました。車もそうなればいいなあと思いました。ぼくもできるだけバスや鉄道を利用したいと思いました。
- ・バスに乗ると車に乗るよりもいいことがたくさんあることが分かりました。高齢者は、車に乗ると事故にあってしまうことがあるけれど、バスに乗れば絶対に事故にあわないので、どんどんバスを利用すればいいと思いました。二酸化炭素の量もバスは少ないと聞いて、びっくりしました。
- ・地球温暖化のことを考えると、自家用車はあまりE C Oではないことが分かってよかったです。そして、ゆれるバスに乗っていることでダイエットにもつながると知っておもしろいと思いました。ほかのお客さんのめいわくにならないように、ちゃんとマナーを守って乗ることも大切だと分かりました。
- ・バスは大きいので、車より二酸化炭素を出していると思っていました。でも、車にくらべて3分の1だと聞いてバスに乗ることはいいことなんだなあと思いました。バスを運転している運転士さんは、みんなの命を預かって運転していることを知り、すごいなあと思いました。
- ・バスにはたくさんの人が乗れることを知りました。路線バスでは、64人も乗れるので、バス停で待っている人がバスに乗れないことはないそうです。びっくりしたことは、バスに乗ることでダイエットにもなることです。理由は、家にある車だとすぐに乗ってしまうけれど、バスに乗るためにはバス停まで歩かなければならないから、ダイエットにつながるんだそうです。